

平成22年度 第1回「宇宙オープンラボ」の 選定結果について(報告)

平成 22年 4月 14日

宇宙航空研究開発機構
執行役・産業連携センター長 古藤 俊一

1. 報告事項

「宇宙オープンラボ」の平成22年度第1回選定委員会を3月12日に開催した。その選定結果について報告する。

2. 経緯

- JAXAは、第1期中期計画及び平成16年度の年度計画において、「新しい発想で新たな宇宙利用を開拓するため、JAXAを中心に大学・研究機関・産業界がチームを作って活動するための仕組み」を整備・運用することとした。これを踏まえ、「宇宙への参加を容易にする仕組み」を実現する施策として、平成16年度に「宇宙オープンラボ」を整備し運用を開始した。
- 今般、平成22年度第1回の研究提案を公募したところ、新規提案については2件の応募があった。

「宇宙オープンラボ」とは、企業や大学等様々なバックグラウンドの方々がチーム(「ユニット」)を作り、JAXAとの連携協力により、それぞれ得意とする技術・アイデア・ノウハウなどを結集して、魅力的な宇宙プロジェクトや新しい宇宙発ビジネスの創出を目指した事業公募制度。提案が採択されれば、JAXAとユニットが年度毎に契約を締結し、宇宙オープンラボの資金を活用して、最長3年間まで提案の実現に向けた共同研究を行う。

3. 選定委員及び評価基準

➤ 選定委員会

選定委員会は、JAXA産業連携センター担当理事を委員長とし、各本部から参加する委員及びマーケティングや技術的な専門知識を有する外部有識者による委員で構成される。

➤ 評価基準

宇宙オープンラボ制度での実施の妥当性、提案の優位性、提案の実現性、ビジネスプランの妥当性を評価項目とし、総合的な検討を行い決定した。

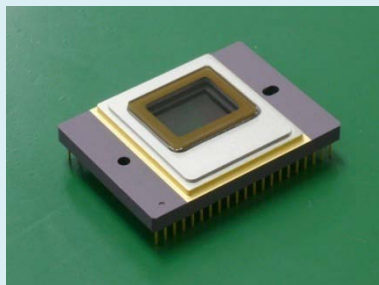
4. 選定結果

➤ 新規提案として1件を採択した(別紙1参照)。なお、23年度以降の継続案件については、22年度の成果を踏まえ、改めて全体計画を審査し、継続の可否を判断することを採択条件とした。

➤ 継続提案として、11件を選定した(別紙2)。

➤ 応募件数の減少が見られることから、制度の認知度向上のための方法の見直しと並行して、エントリーを容易にするための検討等を行い、22年度内に改善を図る予定である。

共同研究提案：国際宇宙ステーションでの 超高感度ハイビジョンカメラを用いた撮影システムの構築



カメラの
撮像素子

ユニットリーダー：

日本放送協会 第2制作センター
チーフ・プロデューサー 田附 英樹

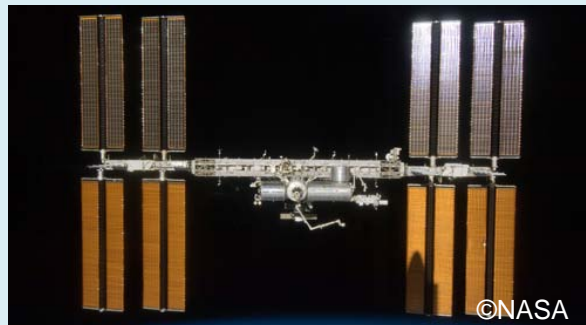
ユニットメンバー：

日本放送協会 コンテンツ技術センター
チーフ・エンジニア 山崎 順一

JAXA研究者：

有人宇宙環境利用ミッション本部 伊藤 剛、河野 貞則
宇宙環境利用センター 村上 敬司

国際宇宙
ステーション



©NASA

概要：本研究では、国際宇宙ステーション内に設置できる宇宙用超高感度ハイビジョンカメラシステムを開発する。本研究で開発する宇宙用超高感度ハイビジョンカメラには、通常のCCDカメラの数百倍の感度を持ち、また近赤外線にも感度を有している撮像素子を採用する予定である。これにより、従来のハイビジョンカメラでは撮影感度が足りず、これまで宇宙飛行士が肉眼でしか見ることのできなかった様々な光景を撮影できるようになる。また、このシステムを利用することで、地球の映像や宇宙空間での現象を国民各層に対して届けることができるようになる。



高空で
とらえた流星

平成22年度 宇宙オープンラボ 継続提案選定結果

新規採択年度	番号	共同研究課題名	研究タイプ	ユニット研究代表者名 (会社名/所属・役職)	JAXA研究代表者名 (所属)	選定結果
19	1	オープンソースGPSRの開発	技術	阿部 俊雄 (スペースリンク株式会社 代表取締役)	齋藤 宏文 (宇宙科学研究本部)	選定
	2	小型無人機による昼夜連続 近接リモートセンシング技術の開発	技術	田辺 誠治 (フジ・インバック株式会社 代表取締役)	穂積 弘毅 (研究開発本部)	選定
20	1	科学衛星データを視覚化し高速表示する ウェブシステムの研究開発・ インターフェースデザインならびに応用分野開発	技術	三澤 純子 (有限会社エム・ティ・プランニング 代表取締役)	海老沢 研 (宇宙科学研究本部)	選定
	2	開発途上国における植林事業のための 衛星情報活用モデルの構築	ビジネス	安藤 祥一 (住友林業株式会社 海外事業本部 海外開発部 グループマネージャー)	渡辺 敏明 (産業連携センター)	選定
	3	複合材構造物の疲労寿命解析ソフトウェアの 開発および商品化	ビジネス	岡田 彰 (株式会社計算力学研究センター CAE技術営業部 部長)	加藤 久弥 (研究開発本部)	選定
	4	軽量マルチセル宇宙構造システムの研究開発	技術	杉山 彩香 (川上産業株式会社 社長室 取締役)	石村 康生 (宇宙科学研究本部)	選定
	5	深宇宙環境での使用に耐え得る 粘着性シリコン素材の開発	技術	宝田 充弘 (信越化学工業株式会社 シリコン事業本部 市場開発部 主席技術員)	矢野 創 (月・惑星探査プログラムグループ)	選定
	6	大型構造物の構造ヘルスマニタリング技術の 研究開発	技術	中代 雅士 (株式会社IHI検査計測 研究開発センター センター長)	佐藤 英一 (宇宙科学研究本部)	選定
21	1	環境対応ニーズに応える 軽量・高剛性筐体の事業化	ビジネス	山口 耕司 (有限会社オービタルエンジニアリング 取締役社長)	岩堀 豊 (研究開発本部)	選定
	2	人工衛星を利用した車両走行情報の収集及び 分析に関する研究	ビジネス	山川 晃 (株式会社アルモニコス 常務取締役)	高畑 博樹 (宇宙利用ミッション本部)	選定
	3	超高分解能構造解析に基づく 新規オーフンドラッグの開発	ビジネス	裏出 良博 (財団法人 大阪バイオサイエンス研究所 分子行動生物学部門 研究部長)	佐藤 勝 (有人宇宙環境利用ミッション本部)	選定